

宮城県一迫商業高校で「明るい未来へ TRY!」を 活用した授業を実施しました！

日本損害保険協会東北支部(委員長：鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員)では、1月21日(火)に宮城県一迫商業高等学校で、当協会の高校生向け金融教育教材「明るい未来へ TRY!～リスクと備え～(※)」を活用した授業を行いました。

同校は、3年連続で同教材を活用した授業を展開しており、当日は、公民科の今野 健人教諭が、2年生の「公共」の授業の中で、社会保険と民間保険の違いなどについて説明されました。また、約1か月前に行った修学旅行を題材に、旅行中にどのようなリスクがあるか、クラスメート間で意見交換をしながら洗い出しをするワークも行われ、「食中毒で入院」「ジェットコースターでケガ」など、高校生ならではの観点から様々なリスクが挙げられました。

同校は、商業高校として、1年生のうちから経済や会計などを学んでいます。日頃から授業を通して金融分野に親しんでいることもあり、積極的に発言したり、先生へ質問を投げかけたりする場面も見られました。また、卒業生の進路の半数近くが就職をすることもあり、社会に出る際に必要な知識を学んでもらおうと、先生方が熱心に授業を工夫されているのが印象的でした。

今後は、「公共」の授業において、社会保障制度を深掘りするとともに、民間保険との関係なども引き続き学んでいく予定とのことです。

当支部では、このような授業実践、講師派遣等を通じて、今後も高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。

※ 明るい未来へ TRY!～リスクと備え～

家庭科・公民科の「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」に沿って活用可能な教材です。金融経済教育・社会保障教育・民間保険教育を実施する際にご活用ください。本教材は、冊子教材(生徒用教材と教員用手引書)、パワーポイント、動画教材、授業展開例動画を用意しています。

<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0014.html>



今野教諭からの説明



クラスメートと意見交換を
しながらワーク